

# 30 ルジヨーの施工方法

「ルジヨー」カラーページP.304-305

## 〈改良圧着貼り工法(床)〉

### ① 路盤施工

クラッシュラン(C-30またはRC-30)とコンクリートで路盤をつくり、仕上がり高さを考慮し、平坦な路盤を作ります。排水勾配は必ず路盤で確保してください。

P.18参照

### ② モルタル下地の施工

モルタル下地は、セメント:骨材=1:2.5(容積比)程度とし、骨材には、細骨材に加えて25mm以下の砂利などを使用してください。練ったモルタルを、仕上がり高さ35~40mmを考慮し、ならし板およびコテを用いて平らにならします。

### ③ ルジヨーの敷設

敷き始めの基準点および基準線を設定します。基準点は長い直線で設置されている縁石などの1点とし、その基準点を通り、直交する2本の基準線を水糸で設定します。

モルタル下地の上とタイルの裏に接着モルタルを塗布し、空隙が生じないようにゴムハンマーなどでたたいて固定します。



### ④ 端部処理

規格寸法で納まらない場合は、ルジヨーをダイヤモンドカッターなどで切断加工して納めます。端部に縁石を使用しない場合は、側面をモルタル、またはコンクリートで端部固定処理してください。

### ⑤ 目地詰め

目地材には目地モルタルなどを用い、下地とのすき間ができないように十分に充てんしてください。目地幅は3~5mmを標準とし、目地詰めの高さは、ルジヨーの表面と同等レベルとしてください。



### ⑥ 仕上げ

ルジヨーの表面に付着した目地モルタルを、水で濡らしたスポンジなどを用いて、きれいに拭き取ってください。また必要に応じて、目地ゴテによる目地押さえ作業を行ってください。

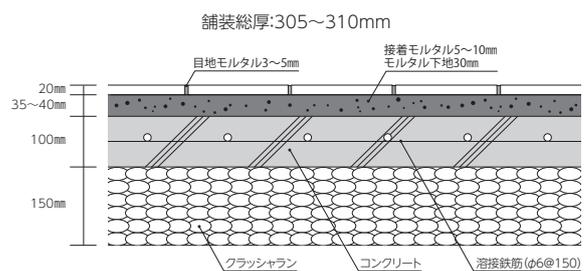


図29-1 ルジヨー参考施工図

### ▲ご注意

- ・モルタル下地の平坦性が十分に確保されていないと不陸、または破損原因となります。
- ・路盤の締固めが不十分だと、支持力が不均一となり不陸、または破損原因となります。
- ・モルタル下地に使用する細骨材は5mm以下の砂とし、シルトや泥分が少なく、ゴミ、小石などを含まないものを使用してください。